

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第48期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社あじかん
【英訳名】	AHJIKAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中谷 登
【本店の所在の場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7010(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【最寄りの連絡場所】	広島市西区商工センター七丁目3番9号
【電話番号】	(082)277-7011(直通)
【事務連絡者氏名】	取締役 業務推進本部長 兼 経営管理部長 樋口 研治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期連結 累計期間	第48期 第2四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	16,440,564	17,089,547	33,825,388
経常利益又は経常損失() (千円)	268,867	151	866,207
四半期(当期)純利益又は四半期純損失 () (千円)	76,777	36,930	379,886
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	21,331	48,939	305,126
純資産額(千円)	8,253,699	8,392,815	8,533,169
総資産額(千円)	16,083,427	16,173,665	16,069,476
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	10.08	4.85	49.88
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	51.3	51.9	53.1
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	144,731	389,669	494,116
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	277,423	207,944	477,321
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	397,753	243,688	593,234
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,808,510	1,692,506	1,753,620

回次	第47期 第2四半期連結 会計期間	第48期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	5.78	6.62

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第47期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による様々な問題や米国・欧州の財政不安による世界的な景気の停滞、急激な円高の進行など依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても東日本大震災による影響は大きく、様々なイベントが一時的に自粛ムードになるなど、個人消費も急激に落ち込んでおりましたが、その後、復興が進むにつれ緩やかながら回復の兆しも見られるようになりました。しかしながら資源系・穀物系の価格上昇に伴う、原材料や副材料・補助材料コストが企業収益を圧迫するなど厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは第8次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、変化の激しい時代を乗り切るため、第一に「ブランド価値の向上」、第二に「継続的な需要創造」、第三に需要創造の一環として中国を中心とした海外へも販売エリアを拡大させた「グローバル化」を目指し、さらなる「自社ブランド品の拡充」「営業基盤の強化」「社内サプライチェーン・マネジメントの確立」「コストダウンの推進」「あじかんブランド品質の向上」を重点施策として取り組んでおります。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の経営を取り巻く環境は厳しく、売上高は17,089百万円（前年同四半期比3.9%増加）となったものの、営業利益は97百万円（前年同四半期比75.8%減少）、これに超円高によるデリバティブの時価評価損などを加えた経常損失は0百万円（前年同四半期は経常利益268百万円）となり、四半期純損失も36百万円（前年同四半期は四半期純利益76百万円）となりました。

なお、セグメント別では、営業部門におきましては、期首において、東日本大震災の影響による消費者の一時的な自粛ムードや東日本エリアの一部顧客が休業状態になるなど、売上高に与える影響はあったものの営業部門全体では、厚焼玉子を中心とした玉子焼類や野菜加工品に加え、自社で企画・開発し国内外の協力工場で生産している自社企画ブランド品、冷凍・冷蔵食品などの仕入商品の需要が増加し、前年同四半期を上回る結果となりました。一方、利益面につきましては、自社製造製品の原料高に加え、国内外からの仕入製商品価格上昇によるコスト増により、前年同四半期比では減益となりました。

他方、生産部門におきましては、当社グループの主要原材料である鶏卵価格が東日本大震災後、主に需給の関係から一時的に高騰し高止まりしたことや、副材料・補助材料、ユーティリティ関連コストが大幅に上昇した結果、省エネ活動など全社的なコスト低減に取り組んでまいりましたが、製造原価率は上昇し、業績に大きな影響を与えました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ104百万円増加し16,173百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ175百万円増加し8,635百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加95百万円、販売政策に伴う商品及び製品の増加43百万円、原材料及び貯蔵品の増加43百万円、現金及び預金の減少61百万円などであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少し7,537百万円となりました。主な減少要因は、投資を上回る有形・無形固定資産の減価償却の進行や、投資有価証券の時価評価などであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ244百万円増加し7,780百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ160百万円増加し6,820百万円となりました。主な増減要因は、仕入に伴う支払手形及び買掛金の増加332百万円、賞与引当金の増加64百万円、約定返済に伴う短期借入金の減少177百万円、未払法人税等の減少63百万円などであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ83百万円増加し959百万円となりました。主な増減要因は、長期的な運転資金を目的とした長期借入金の増加94百万円、退職給付引当金の減少16百万円などであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し2,753百万円となっ

ております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ140百万円減少し8,392百万円となりました。主な減少要因は、四半期純損失の計上36百万円、剰余金の配当による減少91百万円であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.2ポイント減少し51.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し1,692百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、389百万円(前年同四半期比169.2%増加)となりました。これは税金等調整前四半期純損失6百万円を計上したものの、減価償却費324百万円や賞与引当金の増加64百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務を合計した運転資本152百万円などが主なプラス要因となったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、生産設備の増強投資・メンテナンス投資など有形固定資産の取得が主な内容ですが、投資の抑制などにより、207百万円(前年同四半期比25.0%減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、243百万円(前年同四半期比38.7%減少)となりました。これは主に、借入金の返済による減少(純額)82百万円やリース債務の支払54百万円、配当金の支払89百万円などであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、182百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,700,000	同左	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部	単元株式数 500株
計	7,700,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	7,700,000	-	1,102,250	-	1,098,990

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)足利興産	広島市中区白島北町3番14号	1,934	25.12
あじかん三栄持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	681	8.84
あじかん株式持株会	広島市西区商工センター七丁目3番9号	366	4.76
(株)広島銀行	広島市中区紙屋町一丁目3番8号	363	4.71
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号	214	2.78
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	192	2.50
(株)ベストローンカトー	香川県観音寺市坂本町五丁目17番17号	183	2.37
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	158	2.05
西川ゴム工業(株)	広島市西区三篠町二丁目2番8号	150	1.94
広島海苔(株)	広島県安芸郡海田町国信一丁目3番54号	139	1.81
計	-	4,383	56.92

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 88,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,584,500	15,169	-
単元未満株式	普通株式 27,000	-	-
発行済株式総数	7,700,000	-	-
総株主の議決権	-	15,169	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)あじかん	広島市西区商工セン ター七丁目3番9号	88,500	-	88,500	1.15
計	-	88,500	-	88,500	1.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,763,620	1,702,506
受取手形及び売掛金	4,035,394	4,130,591
商品及び製品	1,768,932	1,812,411
仕掛品	8,110	6,846
原材料及び貯蔵品	635,891	678,968
繰延税金資産	126,127	141,913
その他	151,980	176,011
貸倒引当金	29,519	13,527
流動資産合計	8,460,537	8,635,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,711,091	1,659,029
機械装置及び運搬具(純額)	929,102	987,878
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産(純額)	24,151	36,243
その他(純額)	201,845	183,438
有形固定資産合計	5,823,486	5,823,885
無形固定資産		
リース資産	27,229	44,299
ソフトウェア	289,791	212,870
その他	25,202	25,216
無形固定資産合計	342,224	282,386
投資その他の資産		
投資有価証券	518,793	486,303
繰延税金資産	93,691	97,347
その他	854,741	868,476
貸倒引当金	23,997	20,453
投資その他の資産合計	1,443,228	1,431,673
固定資産合計	7,608,939	7,537,944
資産合計	16,069,476	16,173,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,594,446	2,926,852
短期借入金	2,564,800	2,387,800
未払法人税等	113,132	49,756
賞与引当金	264,000	328,000
役員賞与引当金	25,732	13,023
リース債務	97,349	84,118
その他	1,000,647	1,031,304
流動負債合計	6,660,107	6,820,854
固定負債		
長期借入金	271,200	365,800
退職給付引当金	128,161	111,568
役員退職慰労引当金	292,710	298,750
資産除去債務	42,159	42,423
リース債務	141,967	141,452
固定負債合計	876,199	959,995
負債合計	7,536,307	7,780,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,507,002	6,378,735
自己株式	64,057	64,136
株主資本合計	8,644,184	8,515,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,480	217
為替換算調整勘定	134,495	122,806
その他の包括利益累計額合計	111,014	123,023
純資産合計	8,533,169	8,392,815
負債純資産合計	16,069,476	16,173,665

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,440,564	17,089,547
売上原価	12,372,198	13,237,653
売上総利益	4,068,366	3,851,893
販売費及び一般管理費	1 3,666,277	1 3,754,615
営業利益	402,088	97,278
営業外収益		
受取利息	649	923
受取配当金	5,158	4,566
通貨スワップ評価益	-	3,289
持分法による投資利益	10,756	8,563
その他	7,957	8,870
営業外収益合計	24,522	26,214
営業外費用		
支払利息	20,834	16,924
為替差損	26,016	53,056
通貨スワップ評価損	43,077	-
長期為替予約評価損	66,001	51,807
その他	1,812	1,856
営業外費用合計	157,743	123,643
経常利益又は経常損失()	268,867	151
特別損失		
固定資産除却損	3,531	2,792
投資有価証券売却損	107	-
投資有価証券評価損	12,045	3,550
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,937	-
和解金	2 27,500	-
特別損失合計	75,122	6,342
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	193,744	6,494
法人税、住民税及び事業税	135,209	36,844
法人税等調整額	18,241	6,408
法人税等合計	116,967	30,435
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	76,777	36,930
四半期純利益又は四半期純損失()	76,777	36,930

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	76,777	36,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,128	23,698
為替換算調整勘定	25,317	8,223
持分法適用会社に対する持分相当額	-	3,466
その他の包括利益合計	55,445	12,009
四半期包括利益	21,331	48,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,331	48,939

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	193,744	6,494
減価償却費	318,752	324,042
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,937	-
賞与引当金の増減額(は減少)	87,000	64,000
役員賞与引当金の増減額(は減少)	11,509	12,709
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,492	6,040
退職給付引当金の増減額(は減少)	23,100	16,593
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,724	19,535
持分法による投資損益(は益)	10,756	8,563
受取利息及び受取配当金	5,808	5,490
支払利息	20,834	16,924
通貨スワップ評価損益(は益)	43,077	3,289
有形固定資産除却損	3,531	2,792
投資有価証券評価損益(は益)	12,045	3,550
売上債権の増減額(は増加)	88,596	97,831
たな卸資産の増減額(は増加)	176,959	81,637
仕入債務の増減額(は減少)	247,795	331,975
未収入金の増減額(は増加)	168	23,593
未払金の増減額(は減少)	7,677	20,552
未払消費税等の増減額(は減少)	79,702	6,403
その他	12,729	17,347
小計	540,816	489,275
法人税等の支払額	396,084	99,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,731	389,669
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	4,166	4,241
投資有価証券の売却による収入	3,392	-
投資有価証券の償還による収入	10,000	-
有形固定資産の取得による支出	271,282	177,814
無形固定資産の取得による支出	17,729	18,810
利息及び配当金の受取額	5,801	5,488
その他	3,439	12,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	277,423	207,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	300,000
長期借入れによる収入	100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	176,600	182,400
利息の支払額	19,119	17,001
リース債務の返済による支出	95,475	54,412
自己株式の取得による支出	74	78
配当金の支払額	106,484	89,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	397,753	243,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,427	849
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	535,873	61,114
現金及び現金同等物の期首残高	2,344,384	1,753,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,808,510	1,692,506

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																												
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給料手当</td> <td style="text-align: right;">793,449千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">201,000</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">11,386</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">67,400</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">9,492</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">3,030</td> </tr> <tr> <td>荷造運賃</td> <td style="text-align: right;">863,601</td> </tr> </table>	給料手当	793,449千円	賞与引当金繰入額	201,000	役員賞与引当金繰入額	11,386	退職給付費用	67,400	役員退職慰労引当金繰入額	9,492	貸倒引当金繰入額	3,030	荷造運賃	863,601	1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給料手当</td> <td style="text-align: right;">811,349千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">202,000</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">11,525</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">71,840</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">8,816</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">13,569</td> </tr> <tr> <td>荷造運賃</td> <td style="text-align: right;">915,745</td> </tr> </table>	給料手当	811,349千円	賞与引当金繰入額	202,000	役員賞与引当金繰入額	11,525	退職給付費用	71,840	役員退職慰労引当金繰入額	8,816	貸倒引当金繰入額	13,569	荷造運賃	915,745
給料手当	793,449千円																												
賞与引当金繰入額	201,000																												
役員賞与引当金繰入額	11,386																												
退職給付費用	67,400																												
役員退職慰労引当金繰入額	9,492																												
貸倒引当金繰入額	3,030																												
荷造運賃	863,601																												
給料手当	811,349千円																												
賞与引当金繰入額	202,000																												
役員賞与引当金繰入額	11,525																												
退職給付費用	71,840																												
役員退職慰労引当金繰入額	8,816																												
貸倒引当金繰入額	13,569																												
荷造運賃	915,745																												
2. 和解金 和解金は、特許に関する争いについて和解合意したことに係る支払いであります。	2.																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,818,510千円</td> </tr> <tr> <td>預金期間が3ヵ月を超える定期</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>預金</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,808,510</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,818,510千円	預金期間が3ヵ月を超える定期	10,000	預金	10,000	現金及び現金同等物	1,808,510	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,702,506千円</td> </tr> <tr> <td>預金期間が3ヵ月を超える定期</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>預金</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,692,506</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,702,506千円	預金期間が3ヵ月を超える定期	10,000	預金	10,000	現金及び現金同等物	1,692,506
現金及び預金勘定	1,818,510千円																
預金期間が3ヵ月を超える定期	10,000																
預金	10,000																
現金及び現金同等物	1,808,510																
現金及び預金勘定	1,702,506千円																
預金期間が3ヵ月を超える定期	10,000																
預金	10,000																
現金及び現金同等物	1,692,506																

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	106,638	14.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	91,336	12.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,440,722	-	16,440,722	158	16,440,564
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,067	4,381,505	4,382,572	4,382,572	-
計	16,441,789	4,381,505	20,823,294	4,382,730	16,440,564
セグメント利益	1,174,051	174,632	1,348,683	946,595	402,088

(注)1. セグメント利益の調整額 946,595千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 949,841千円及びたな卸資産の調整額9,359千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,089,547	-	17,089,547	-	17,089,547
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,464	4,612,010	4,613,474	4,613,474	-
計	17,091,011	4,612,010	21,703,021	4,613,474	17,089,547
セグメント利益	1,171,595	11,231	1,182,826	1,085,548	97,278

(注)1. セグメント利益の調整額 1,085,548千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,031,099千円及びたな卸資産の調整額 54,878千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額()	10円8銭	4円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	76,777	36,930
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損 失金額()(千円)	76,777	36,930
普通株式の期中平均株式数(株)	7,616,945	7,611,296

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

株式会社あじかん
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松原 浩平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千々松 英樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社あじかんの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社あじかん及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。